

最も有名なのは亞爾然丁との國境にあるバラナ河に於ける、七段の瀧又の有グアイラ瀧で、第二はイグアツスウ河のサンタマリア瀧である。

七段の瀧は高さ四十米突(六十三米突と云ふ者あり)幅二千米突(バラナ年鑑には三千米突雨期にあつては九千米突とあり)で落水水量は一萬八千立方米突、その水力は四千萬馬力と計上されて居る。イグアツスウ河のサンタマリア瀑布は、落水水量二千五百萬馬力である、又ウニオン・ダ・ピクトリア市に近く、三萬餘馬力を有する大瀧、二萬二千餘馬力を有する小瀧がある他、バラナ州内に大小百十一箇所の利用し得べき瀑布がある。亞爾然丁側に於ては、此のイグアツスウ瀧利用に就て種々實地研究をしてゐると云ふ、この瀧から百萬キロワットの電力を得るは容易だが、需要地たるロザリオ、ブエノスアイレス、モンテビデオ等の諸市が、千乃至千二百基米突の遠距離なので、現在の電工學進歩程度では、あまりに遠距離に過ぎるといふ、然し遠距離だと云つて、誰もあきらめられない、最近にも北米の一技師は、之等の瀑布から十二萬キロワットの電力を得、之を二線式で二十二萬ボルトの電壓で、ブエノスアイレス市へ運ぶ計畫を立てた相で、之に依ると途中の電位落差は二十%に過ぎないとの事である。

# 一五、交通

## (イ) 鐵道

一八五二年まで伯刺西爾には鐵道がなかつた、此の年の六月十二日の勅令で、イリチウ、エバンジェリス

タ・デ・ソウザ氏即ち後のマウア男爵が、グアナバラ海岸(リオ灣)マウアから、エストレエラ山の麓まで鐵道を敷いたのが、伯刺西爾は勿論、南米最初の鐵道であつた、此の鐵道の後身は今日のベトロポリス行線でベトロポリス市(リオ市の山上の避暑地)までの開通式に、使用された機關車は「男爵」と命名されて、官線中央鐵道に記念として保存されてある。

之が動機となつて、やがて南米各地に鐵道建設が起り、伯國內にも所々に敷設され始め、まだ不足極まるが三萬キロメートルの延長を有するに至つた、そして今では延長米突數から云つて、米、獨、露、佛、英、加奈陀、印度、奥匈國、亞、墨に次ぐ位地を保つて居る。

鐵道建設は年々その延長數を増加して、一九〇〇年より一九一九年三月末日迄に、次のやうな數字を示して居る。

年 別	延長米突數
一九〇〇年	一四、六四七、六〇〇
一九〇六年	一七、三四〇、四〇〇
一九一〇年	一九、一九三、〇〇〇
一九一五年	二六、〇六二、二六八
一九一九年	三〇、一〇一、五八〇

伯國鐵道の主なものは、官有の中央鐵道で、一八五八年三月廿九日に開通式が舉行されたので、設計者はクリスチアノ・オットニ技師で、當時はベドロ二世鐵道と呼ばれてゐた、此の鐵道はリオ市ブラッサ・レブブリカを起點としリオ・デ・ジャネイロ州一帯、ミナス・ジエラエス州、サンパウロ州へまで延長し、主な線は  
1 中央線。リオ市よりミナス州のピラポラに至る延長一千基米突を有し、他日バラ州首府ベレン市

まで延長される筈で、之が完成すると三千五百基米突の延長となるのである。

2 サンパウロ線。リオ市とサンパウロ市とを連絡する、此の延長は三千基米突を有する。最近に於ける鐵道統計が、交通省からまだ發表されて居ないので、已むを得ず一九一九年三月末現在の調査統計に依るのは遺憾だが、之に依つて各州別既成鐵道延長米突數は、

州 別	延長米突數	州 別	延長米突數
サンパウロ	六、七〇五、七四二	ミナスシエラエス	六、五二七、一〇〇
リオデジャネイロ	三、一三一、一二八	リオグランデスル	二、七五五、五八四
ハルナンブコ	二、〇九七、七四五	バイア	一、八三八、九五二
マツトゲロツソ	一、五五八、二八一	パラナ	一、〇六四、三三八
サンタカタリナ	一、〇一八、二六〇	セアラ	八九〇、八二五
エスピリトサント	六五九、九五八	アラゴアス	四五〇、三七二
バイア	三六七、九〇三	セルジペ	三六四、〇一六
リオグランデノルテ	三一三、四三八	ゴヤス	二九三、〇六六
聯邦首都	一八七、一〇九	アマゾナス	一七九、六三六
マラニオン	九一、四〇〇		六、〇〇〇

又主なる系統に依る延長數は

線 名	延長米突數	線 名	延長米突數
レオホルサイナ	二、九六三、三三四	中央鐵道	二、四一五、一八二
リオグランデスル	二、二八二、五四一	モジアナ	一、八八九、〇三四
バイア	一、八八五、九二〇	ソロカバ	一、六四五、四三七
カレイトウエスタン	一、六一八、二〇〇	オエステデミナス	一、五五八、八七一
サンパウロ、リオグランデ	一、四四四、四三四	パウロ、ホルトエスベランサ	一、二七三、四八〇
パウリスダ會社	一、二五一、三〇九	スルミチエラ	一、一四一、八〇五

以上諸線を經營所屬別に約言すれば

所屬、經營別	延長基米突數
國有にして官營	六、三二〇
國有にして貸下	八、七四八
中央政府特許補給利子付	三、六六九
同上補給利子無	二、〇九八
州政府特許	七、四五三
私有	一、七六七
計	三〇、一〇一

軌道の様式は少數の輕便鐵道の六十センチメートルなるを除き、概ね一メートルである。廣大な土地を擁する伯國に、最も不足して居るのは鐵道である、如何に多くの富源が、埋藏されたまゝ、鐵道運輸の便がない爲に開發されずにあるかは想像に餘ある。

最も未來ある地、として喧傳されるパラナ州の如き、北より南へ縦斷するリオ・グランデ・サンパウロ鐵道の如き、建設當時一米突につき十「ミルレース」の補助があつたので、建設請負者側はその線路建設を經濟上の價值よりは、工事の難易と延長米突數に重きを置いた爲、今日見るが如き右曲左折、農業上からは何等價

値のないやうな、茫々たる草原を、蛇のたつたやうに走る奇觀を呈し、初めて該線を旅行する者は、鐵道沿線の地形により、バラナ州の實質を誤るのである、であるから同州の如きは生産物の運賃が非常に嵩むので、來つて重要地點に鐵道布設をなすもの、出現を待ちわびてゐるのである。

次に最近調査の主なる伯國鐵道の一基米突當收入年額を示せば、

鐵道名	一基米突當收入年額	鐵道名	一基米突當收入年額
サンパウロ鐵道	一二四、五七七、五四五	バウリスダ鐵道	二五、一七六、三四四
中央鐵道	二二、八三一、〇九〇	モザアナ鐵道	一三、五三八、六〇〇
ソロカバナ鐵道	二二、〇七一、六五九	レオボルザイナ鐵道	九、二九六、〇二三
グレートウエスタン鐵道	六、六〇一、四一九	アウシリアレ鐵道	六、三九七、四六六
オエステアミナス鐵道	五、九一三、〇三三	バラナ及サンタカタリナ鐵道	五、六五八、五一八
スルミ子エラ鐵道	四、一二〇、七八八	セアラ鐵道	三、三〇六、九二四
グレートサウザン鐵道	一、八〇九、九二二	カシアスカジャセエラス鐵道	一、六六四、四一五

今参考としてサンパウロ州の一鐵道會社、モジアナ鐵道會社の一八七五年以降、一九二一年度迄十年毎の營業成績を示せば、

年別	線延長基米突	輸送乗客人員	輸送貨物噸數	資本金 單位(千ミルレス)	純利益 單位(千ミルレス)
一八七五	一〇六	二八、六五九	一一、八八一	三〇〇〇	二〇、六一六、四〇九
一八八五	三五一	一三五、二四三	八五、一四六	五、二〇〇	一、〇三四、五六〇、四七九
一八九五	一、〇七一	一、二二六、四〇〇	二七四、五一七	四四、八一九	四、九五七、六〇三、七七六
一九〇五	一、三四六	一、三二〇、二二三	五五一、二一五	六九、九九八	七、〇〇六、七九九、一二〇
一九一五	一、八九一	二、五〇一、九三九	一、一〇八、四一三	八〇、〇〇〇	一、一八〇、五七六、八五二、四
一九二一	一、九六七	三、三一八、六二一	一二五三、二八〇	八〇、〇〇〇	一三、九四九、二七六、五〇一

更に一九二二年一月、サンパウロ州政府から海外興業株式會社が、日本人の伯國鐵道事業最初の試として建設特許を受けた、ジユキア、リベイラ鐵道の要領を述べれば、現在の南サンパウロ鐵道會社のサントス—ジユキア線を、バラド・ジユキア即ち海外興業株式會社のレヂストロ植民地の對岸へ延長して、サントス港に直接聯絡させやうと云ふので、線路延長約三十基米突である。軌條、機關車、停車場、土地等一切の費用を含めて、一基米突建設費平均百二十五コントス、外に測量其他準備費二百五十コントス、建設費總計四千コントスの豫算で、工事は着手後十八ヶ月を以て竣成の見込である、されば一九二二年伯國獨立百年祭を記念に十月から工事に取掛れば、一九二四年四月には、日本人の汽車が初めて伯國の地に走ることになるのである。さて本項を終るに當つて、諸外國の鐵道投資状態を畧説する、(主として在伯國帝國共使館書記官野田良治氏の調査に依る)

- 1 英國資本で布設經營の分。伯國東北、伯國大西、レオボルヂイナ、サンパウロ、南部サンパウロ、リオ・クラード、サンパウロの各鐵道で、その投資額約千四百萬磅とされてゐる。
- 2 佛國の鐵道投資は、既設鐵道の社債引受の形式に依るもの多く、自ら布設經營するものは殆どない、サンパウロ、リオ・グランデ鐵道は佛資に依ると云はれる。
- 3 米國。佛國鐵道に對する米國の投資は、一九〇六年千百萬弗の資金で伯刺西爾鐵道會社設立され、次いで資本金一千萬弗のソロカバナ鐵道會社及び資本金千百萬弗のマデイラマモレー鐵道會社が組織された、之等は孰れも米國資本家バーシバル、フアーカーを主腦とする企業で、マデイラマモレー、ソロカバナ、サンパウロ、リオ・グランデ、バラナ、バラナ北部、ドナテレザクリスチイナ、白國オークジリエール等の各鐵道を管理營業してゐる。

(ロ) 航 運

伯刺西爾は既に戦前に於て、南米第一の商船所有國であつた、殊に戦後は抑留の大型獨逸船が、殆どその有に歸したので、世界有数の商船所有國となつた、それと共に新規世界各方面に新航路を開拓して、頗る目醒ましく活動してゐる。又伯國航運界の一特色は、大船航行自由の大河が多いので、平水航路が發達し、これに使用される船舶の多い事である。

即ち最近聯邦政府管船局調査に依れば次の數字が見られる。

種 類	船舶數	總噸數	登簿噸數
海 洋 航 船	二四三	四四七、六〇五	二七五、八〇九
河 川 航 船	二九八	七七、七二九	四八、一一八
計	五四一	五二五、三三四	三二三、九二七

此の中には帆船、曳船等の小型船は含まれてゐない、更に官有の伯國ロイド汽船會社の所有船舶は

船舶種類	隻數	總噸數
沿海航路船	三八	七四、五六八
遠洋航路船	三八	二〇七、二二三
計	七六	二八一、八〇一

ロイド會社以外の主な航海會社は、内國沿海航運、内國商船、伯刺西爾航業、内國ロイド、伯刺西爾航洋ロイド、オイベック航運、バイア航海、バラナイバ河船、マラニオン通運、サン・ジョアン・ダ・バラ・カンボス汽船、アマゾン河汽船、南サンパウロ汽船等其他である。そして沿海航路は伯國船のみに限られ、外國船に

は許されてゐない。

遠洋航路に従事する諸外國汽船は、英、米、佛、伊、蘭、西、葡、諾、瑞、日、亞等で、戦後米國船の米伯間航路活動は著大なるものである。

一六、投 資

伯刺西爾に投下された外國資本の、國別事業別に金額を正確に調べたものは、伯國官廳や商業會議所でも在伯國英、米、佛、伊等の商業會議所でも、少しも調査した材料がないので、本項は概ね在伯國帝國公使館書記官野田良治氏の調査に依り、その調査年度は古いが我慢する事とし、英國の分は *Wileman's Brazilian Review* 誌の *Monitor Mercantile* 誌に據つた。

伯國に最多額の資本を投下してゐるのは英國で、戦前には佛蘭西之に次いだが、戦争と共に回收した額が多く、然も最近米國の活動の爲、遂に其の地位を奪はれるに至つた、又獨逸、伊太利、白耳義、葡萄牙等も投資してゐる。そして其の投資の種類は、聯邦、州、市各公債、企業會社々債、鐵道、銀行、航運、築港及び經營、諸電氣事業、市街改良、衛生工事、鑛業、農牧及び林業、各方面に及んでゐる。

一九二二年十二月末日現在の聯邦の外債額は次の如くで、英貨の分を英國、米貨の分を米國、佛貨の分を佛國の投資と見れば、

英 一〇二、九三〇、八三四磅  
 米 五〇、〇〇〇、〇〇〇弗

佛 三三二、二四九、五〇〇法

一九一三年乃至一四年に亘る調査に依る州外債、一九一五年調査の市外債は

州外債

市外債

英 三一、二六八、七七四磅 八、一〇四、六〇〇磅

佛 四九八、三七五、〇〇〇法 二五、〇〇〇、〇〇〇法

前記州債中最近の州統領の議會への教書に依り、判明したサン・パウロ、リオ・デ・ジャネイロ、ミナス  
ジエラエス各州の、一九二一年十二月末日現在の外債を示せば、

サンパウロ州

ミナスジエラエス州

リオデジャネイロ州

七、六七三、二九〇磅

換算額ミルレリス

九、九六一、〇〇〇弗

四三、二九六、九〇〇

一八、〇〇〇、〇〇〇法

一三二、九二四、二五〇法

又一九二一年三月乃至五月に於ける、聯邦、州、市各外債額は、英國に於て千五百萬磅、米國に於て九千六百五十萬弗で、之を七片四分の三の爲替相場場で換算すると、百十六萬四千百三十コントスで、利子は平均八歩五厘である。

次に企業會社の社債は、戦前に於ては佛國最も多く引受け、戦後は殆ど米國一手で引受けてゐる。

伯國に營業する外國銀行は、英國第一で、一九一五年から米國銀行が割込活動を始めた、其他佛、白、蘭、獨、葡、伊、日等の銀行がある。

鐵道に對する投資は、既に交通の項、鐵道に就き述ぶるに當つて略説したので、茲には之を省く事にする。港灣の修築及港業經營に關しては、佛國資本の勢力最も大で、バラ、ベルナンブゴ、バイア、リオ、サン

トス、リオ・グランデの六大港中、サントス港以外の五港は、皆其全部又は一部佛國資本で修築され、此の五港中からリオを除いた四港は、佛人技師の工事監督に依つて成つた、此の方面の投資で佛國に次ぐは米國である。

電鐵、電燈電力、其他一般電氣事業は、加奈陀に設立された大會社が最も盛大に營業し、首都リオ市及びサン・パウロ市等の電氣事業は、殆ど同社の獨占である、そして同社は英米資本家から成つてゐる、又白耳義、獨逸も若干の投資をしてゐる。

市街改良及び瓦斯事業は多く英國の資本である。

鑛業投資は英、佛、米、白、亞の諸國である。

土地投資は英、米、佛、白、亞の諸國で、最近米國資本家の此の方面に對する活動は、頗る目醒しいものがある。

農産、林業、牧畜及び畜産利用業に投資して居るのは、英、米、佛、日本の海外興業株式會社等で、南方ではウルグアイから若干の投資がある。

航海に對しても「交通」項に略説したので茲には省く。

電信電話等の通信事業に對しては、海底電信は従前、英、獨、佛の資本で經營されたが、戦後獨の代りに米が割込をした、無線電信は英國マルコニー會社に營業を許可したが、段々伯國政府で取扱ふやうになる筈。

リオ市の電話は最初獨逸會社が經營したが、後米國會社が之を買收し、同時に擴張して内地方の通話を開くに至り、今ではサン・パウロ市との聯絡通話が出来る。

其他一般商工業に對する投資は、英米佛獨伊が最も優勢である。

さて戦前の六ヶ年間に於ては、一ヶ年平均三千萬磅を下らない程、外國から伯國へ投資があつた、殊に一九一三年の如き、四千萬磅と云ふ稀有の外資輸入があつた、其後巴爾幹戰爭の影響から、歐洲大亂となり、一九一四年には六百萬磅に激減し、翌一五年には公債等の形式で輸入せらるゝもの皆無となり、一六年に於ても僅々百十三萬磅の外資輸入に止まつた、米國は歐洲諸國が戰爭に忙殺されてゐる好機を利用し、對伯投資國として盛に活動し、戰爭終結平和來後數年を経る今日も、歐洲諸國は巨額の軍費消費の爲、經濟上の痛手の復舊に暇なく餘裕もなきに反して、米國は戰爭の爲に驚くべき國富を増進したので、殆んどその全力を用ゐて南米發展に務めてゐる感がある、

(イ) 英國の伯國投資

一九一九年度現在の、英國の對伯投資狀況は次の通りである。

種類	社數	金額(單位英貨磅)
各種事業投資		
1 鐵道、電車、電燈、電力(南部伯刺西爾)	一七	八三、三九四、一二五
2 同上 (北部伯刺西爾)	九	一三、〇二三、九二二
3 各種工業 (南部伯刺西爾)	一六	一〇、七六七、六一九
4 同上 (北部伯刺西爾)	一一	三、八六三、一七〇
5 珈琲事業	四	一、六九八、五〇〇
6 護謨事業	二	六四六、九〇八
7 鑛業	五	九五四、七九三

種類	金額(單位英貨磅)
以上計	六一四、三四九、〇三七
伯國に關係し一部使用さるゝもの	
銀行(資本金及積立金を含む)	三、九一四、〇〇〇
汽船會社(資本金及社債共)	一七、〇二一、九九〇
公債	
聯邦債	一〇三、三九二、〇三四
州債	一五、五八〇、六八七
市債	一四、四二一、九〇〇
總計(一部使用さるゝものを除く)	二四七、七四三、六五八

(ロ) 佛國の伯國投資

佛國の伯國投資の正確な統計の據るべきものは一もない、カルロス・エンリケ氏は次のやうに分類推算してゐる。

種類	金額(單位法)
公債(聯邦、州、市各債)	二、七〇〇、〇〇〇、〇〇〇
築港、鐵道其他公共的工事	一、八〇〇、〇〇〇、〇〇〇
銀行及各種生産業	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
合計	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

然し最近聖市の佛國商業會議所書記長の意見に據れば、戦後今日の佛國の對伯投資額は、戰爭のそれに比

して、非常に減少してゐると云ふことである。

## (ハ) 米國の伯國投資

米國は對伯投資國として、最新參だが、多數の大商店により、盛んに輸出入貿易を營むと同時に、他面鐵道、電氣事業等に、得意のトラストを發揮し、鑛業及び農牧業方面にも多大の努力をした。

投資額を數字を以て示す事は困難だが、一九二二年四月サン・パウロ市の、米國商業會議所の推算によればサン・パウロ州各種商工業に投下されてゐる米國資本は、約十一萬三千百六十コントスだといふ。

## (ニ) 其他諸國の投資

以上記述した外、獨逸、白耳義、加奈陀、伊太利、葡萄牙其他の諸國も亦伯國に對し投資をしてゐるが、何分明確な數字を得られず、同時に多くは個人經營の事業に投下せられてゐるので、事業別金額を示すことは益々困難である、唯商工業及農牧業に投資されてゐる、と云ふ事が出来るのみである。

とにかく伯國はなすべき事業が多くて、資金の缺乏に悩んでゐるのである、であるから資金を擁して來る者は、その何國人たらうと一様に歓迎する、殊に伯國人は同一國人に多く投資されて、その獨占横暴せらるゝ事を忌む結果、多種多面の國人の投資を歓迎する傾向がある、かの海外興業株式會社が、他に英國其他の競争者があつたに拘らず、首尾好くそのジュキアールベイヤ鐵道布設特權を得たる如きは好例で、この關係が與つて大に力があつたのである。

## 一七、農

### 業

### (イ) 一般農産状態

農業は伯國富源の第一である。

一八八八年迄伯國の農業は、非常な速度で發展した、然し此の年に奴隸の解放が行はれると共に、牛馬のやうに働いた奴隸は、殆ど總て農園を去つたので、さしもに盛んだ、砂糖、綿等の農産に一頓挫を來たした、そして勞力不足の聲は此時から初まつて、今日に至つて益々甚しい事は、人口分布率に見ても、一平方基米突に僅かに四人に過ぎないのを見ても肯き得られやう。然し奴隸時代に比して進歩の仕方は稍鈍い、と云つても各國からの移民の來集と、農具の改良や器械の應用等の進歩した農業法で、着々と發達して、戦前までは大量を輸入してゐた米を輸出するに至り、玉蜀黍の産額は世界第二とまでなつた、其他綿にあれ、甘蔗にせよ年と共に産額を増大し、小麦の如きでさへ茲數年を経たら國內自給が出来やうといはれる。

伯國農産一般の現状を知るため、聯邦農務省内農産獎勵局最近調査に依れば、該局の調査發表當時迄に申告のなかつた、マラニオン、ゴヤス、バイア及ミナス・ジエラエス各州の一部を除いた、全國一千二百八十八郡中、一千百四十郡の耕作面積は六百二十萬ヘクタール(一ヘクタールは我が一町歩餘)で、其内最も大なる耕作地を有する州は、サン・パウロ州の二百十四萬三千九百八十一ヘクタール、リオ・グランデ・ド・スル州の百十六萬八千八百八ヘクタール、ミナス・ジエラエス州の百十萬四千八百八十二ヘクタール等で、主要農産物は珈琲、カ、オ、甘蔗、米、煙草、綿、マテ、小麦、大麥、裸麥、酒精、火酒、護謨、マンデオ

カ粉、玉蜀黍、各種澱粉、マモナ、馬鈴薯、さつまい芋、豆、椰子蠟、椰子實等である。  
 此の内北の端より南のはてまで、全伯國中に普及耕作されてるものは、玉蜀黍と豆で、米は南部地方に多く、マンチオカは北部に盛んで、珈琲はサン・パウロ州を中心とする。主要農産物に就きその耕作面積を示せば

品種	耕作地積 (単位ヘクタール)	品種	耕作地積 (単位ヘクタール)
珈琲	二、〇四四、九〇〇	玉蜀黍	二、二八〇、〇〇〇
豆	六五五、九〇〇	米	二〇九、五二六
マンチオカ	一三四、七一九	甘蔗	二六八、二二九
綿	一七八、八〇八	カ、オ	一七六、九〇〇
煙草	一二六、二四四	小麦	一〇二、九〇〇

次に一九二〇—二一年度の主なる農産額は

品種	単位	数量	平均単價 レリス	價額 ミルレリス
玉蜀黍	キロ	四、七三六、〇九五、八六六	二〇〇	九四九、二一九、一七三、二〇〇
珈琲	同	八五四、七二三、九六六	一、二〇〇	一、〇二五、九九二、七五九、〇〇〇
綿	同	二四二、九九五、八四三	二、〇〇〇	四八五、九九一、六八六、〇〇〇
砂糖	同	六九五、五一六、四〇〇	六〇〇	四一七、三〇九、八四〇、〇〇〇
米	同	六三八、二六四、〇八六	五〇〇	三一九、一三二、〇四三、〇〇〇
豆	同	六四四、四四四、三六四	三五〇	二二二、五五五、五二七、四〇〇
マモナ	同	二六〇、〇〇〇、〇〇〇	六〇〇	一五六、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
煙草	同	八六、六三二、七〇五	一、五〇〇	一二九、九五〇、〇四二、五〇〇
マンシオカ粉	同	五七二、三〇七、九二〇	二〇〇	一一四、四六一、五八四、〇〇〇

品種	耕作地積 (単位ヘクタール)	品種	耕作地積 (単位ヘクタール)
護謨	六〇、八五八、六〇二	馬鈴薯	一、六〇〇
馬鈴薯	一九〇、八五二、五八〇	小麥	四〇〇
小麥	一三五、八四五、二二五	カ、オ	五〇〇
カ、オ	六一、〇五二、六一五	アルファアファ(牧草)	一、〇〇〇
アルファアファ(牧草)	一六一、六三四、五〇〇	火酒	三七〇
火酒	一三三、七二〇、一六二	葡萄酒	二五〇
葡萄酒	四七、二八〇、〇〇〇	椰子實	五〇〇
椰子實	一九、六〇五、〇七二	椰子蠟	五〇〇
椰子蠟	三九、〇三五、〇〇〇	大麥	二〇〇
大麥	一二、九四四、三二二	精麥	五〇〇
精麥	八、七七七、六五五	燕麥	六〇〇
燕麥	八、七二三、五六九	マモナ	四〇〇
マモナ	八、三四四、九四一		二〇〇

又主要農産物を各州別に示せば、  
 アマゾナス州。カ、オ、グアラナ(一種の樹汁)、護謨。  
 バラー州。護謨、煙草、カ、オ。  
 ビアウイ州。甘蔗、マンチオカ、米、椰子蠟、椰子實。  
 セアラ州。綿、マンチオカ、玉蜀黍。  
 バライバ州。珈琲、甘蔗、椰子實、玉蜀黍、マンチオカ。  
 ベルナンブコ州。甘蔗、綿、珈琲。  
 アラゴアス州。椰子實、綿。





(上) 伯國栽培甘蔗的人及其比較 (下) 日本依人輸出米收穫

セルジベ州。甘蔗、綿。

バイア州。珈琲、椰子實、カ、オ、煙草、玉蜀黍、蜜柑。

エスピリト・サント州。珈琲、カ、オ、甘蔗。

リオ・デ・ジャネイロ。州甘蔗。

サン・パウロ州。珈琲、綿、蜜柑、葡萄酒、米。

バラナ州。珈琲、馬鈴薯、マテ、小麦、玉蜀黍。

サンタ・カタリナ州。小麦、米、馬鈴薯、煙草、豆、蜜柑、葡萄酒、玉蜀黍。

リオ・グランデ・ド・スル州。小麦、米、アルファアア(秣草)、葡萄酒、馬鈴薯、玉葱、煙草。

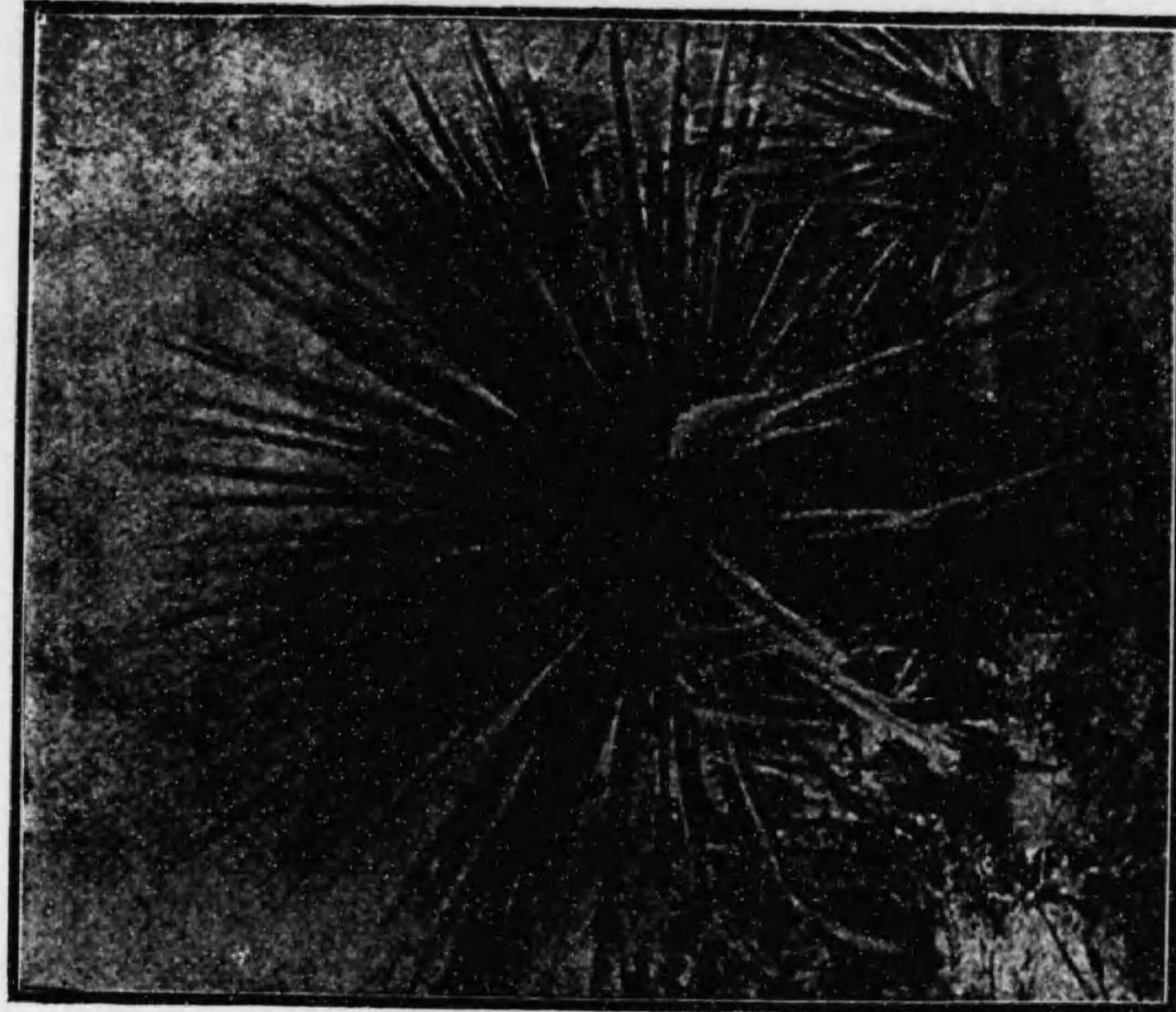
ミナス・ジエラエス州。珈琲、葡萄酒、マンガ、米、馬鈴薯、煙草、さつま芋、豆、甘蔗。

マツト・グロツソ州。玉蜀黍、甘蔗。

而して地方労働者の平均一日給料は

州名	平均日給額	州名	平均日給額
アマゾナス	二、五〇〇—三、五〇〇	バライイバ	二、〇〇〇—二、五〇〇
アラゴアス	一、五〇〇—三、〇〇〇	バイア	一、〇〇〇—三、〇〇〇
エスピリトサント	二、〇〇〇—四、〇〇〇	サンパウロ	二、五〇〇—五、〇〇〇
サンタカタリナ	二、〇〇〇—六、〇〇〇	ミナスジエラエス	一、〇〇〇—五、〇〇〇
マツトグロツソ	二、〇〇〇—六、〇〇〇		

更に一九二〇年に於ける、全国内の肥料消費量は、一千二百一萬九千キロで、耕作面積に比すれば、肥料の使用量は極めて少量で、主な消費地はサン・パウロ州とリオ・グランデ・ド・スル州とである、然し此の



消費量を、十年前の一九〇九年のそれに比するときは殆ど倍増して居る。

### (ロ) 主要農産物に就いて

本項に略説せんとする主要農産物は、同時に又主要輸出貿易品でもあるので、商業編中主要輸出品に就て述ぶる際、生産額其他に就て言及した分は、茲には重複を避くる爲略す事にした。

## 1 珈 琲

一七三〇年珈琲樹は初めて阿弗利加アビシニアから、アマゾナスへ移植された。そして一七六一年五月四日に輸出税がなくなつてから、その栽培が盛になり出した。最初に植付けられた珈琲樹は、リオ市現今のエパリスト・ダ・ベエガ街の修道院及び現今のエタシオ・デ・サア大通りに當るマタボルコと當時呼ばれた地の、英人ホツブマンの畑に植えられたのである。この珈琲樹から取つた種子から、サン・ゴンサロ及びレゼンデに植え付けられ、そこからサン・パウロ州、ミナス・ジエラエス州、バイア州其他へ傳播した。

一七九一年に最初の伯國珈琲の輸出があつた、之は前記英人ホツブマンに依つて輸出されたので、數量はほんの申譯ばかりであつた事は、此後一八〇〇年に於て漸く二袋を輸出した事に依つても思ひ知られる。それが今日ではサン・パウロ州だけでも八億三千本の珈琲樹を有し、八百萬乃至九百萬袋の産出があり、伯國全体として世界産額の七割餘にも上るまでになつたのである。

目下伯國で栽培せられる珈琲は、アラビア種とリベリア種とある、最も多く栽培されてゐるのはアラビア種である。

珈琲樹一本の價額は平均二ミルレースで、其の手入賃其他諸掛は一ヶ年約三百レースを要する。一本の生

産能率は土地の肥瘠、樹木の新古、發育の如何、天候等に依り差異があるが、大体七百五十グラムから一キロ二百グラムの間で、地味頗る好良な所では二キロ二百五十グラムを産した例もある、普通一千本の産額は五十乃至六十三アロバス（一アロバは十五キロ）で、最近九ヶ年間の平均産額は五十六アロバスとされて居たが、一九二一—二二年には長期旱魃の影響で三十三アロバスと見積られた。又一アロバに對する平均生産費は二ミル五百レース、即ち一俵六十キロに付十ミルレース平均を要するのである。

猶最近サン・パウロ州農務部で調査發表した一九二二—二三年度の珈琲收穫豫想を示せば

生産地帯	數量(單位袋—六〇キロ入)
パウリスタ鐵道沿線地帯	三、三四〇、〇〇〇
モジアナ同	二、三〇五、〇〇〇
ソロカバナ同	一、〇四五、〇〇〇
中央線及サンパウロ同上	四五〇、〇〇〇
サンパウロ州合計	七、一四〇、〇〇〇
ミナスジエラエス州南部	七九五、〇〇〇
バラナ州	五五、〇〇〇
總計	七、九九〇、〇〇〇

然し民間に於て計算する收穫豫想高は、六百五十萬袋を標榜してゐる。

又聯邦農商務省内農産獎勵局最近調査に依れば、全國の珈琲栽培耕地は、二百四萬四千九百ヘクタール（一ヘクタールは我一町餘）で其中最大耕作地を有するは、サン・パウロ州の百二十八萬ヘクタール、ミナス・ジエラエス州の三十七萬ヘクタール、リオ・デ・ジャネイロ州の十九萬一千ヘクタール等で殘餘は、エ

66  
117.00  
7.00

スピリト・サント、バイア、ベルナンブゴ、バラナ、セアラ、バライバ、サンタ・カタリナ、アラゴアス、マラニオン各州に屬す、尙ほ現在バラナ州の珈琲樹は四百五十萬本を算してゐる。而して一ヘクタールの平均生産率は、サン・パウロ州に於ては二千二百キロ、バラナ州に於ては千五百キロ、サンタ・カタリナ州に於ては千四百キロ、ミナス州に於ては八百五十キロ、ベルナンブゴ及びリオ・デ・ジャネイロ州では各六百キロである。

## 2 綿

綿の全國栽培面積は十七萬八千八百八ヘクタールである。一九二一年の伯國綿生産量は世界生産量の三分に過ぎなかつたが、米、支、印、埃諸國に次いで第五位であつた。

伯國綿の品質の優秀な事は、既に商業編で述べた通りである。

綿は平均温度二十度、適當な雨量のある地に繁茂するので、伯國に於てはサン・パウロ州以北の各地は、極めてその栽培に適してゐる。目下サン・パウロ州が生産上第一位を占め、ベルナンブゴ州は第二位にある、然し品質はベルナンブゴ産は纖維長く、サン・パウロ産より遙かに優良である。

サン・パウロ州に於ける一九一—二二年度と、一九一八—一九二一年度の生産高は次の如くで、約十年間に産額も亦約十倍してゐる。

年 度	生産數量	價 額
一九一—二二	一、二四九、二一四 <small>アロバ(十五キロ)</small>	五、〇五九、三一六、七〇〇 <small>ミルレース</small>
一九一八—一九	一一、〇二五、九八〇	一一一、二八五、七八〇、〇〇〇

然し一九二〇年度の收穫は四、五八八、二九九アロバス、價額四三、五八八、八四ミル五〇〇レースでは大虫害の爲減收したのである。

聖州に於て多く栽培される種類は米國種の *Gossypium Herbaceum* で、纖維の長さは平均二十八ミリメートル、直徑〇、〇一八一〇、〇一九ミリメートルで、抵抗力は四乃至六グラムである。雨期に入らんとする九月から十月に播種、翌年四月乃至五月成熟し、五月から六月にかけて收穫する、收穫率は平均一アルケール（我が二町五反歩）に付二千二百五十キロ乃至三千七百五十キロで、種子と出來が好ければ一時半乃至二吋の長さの纖維を、三割乃至三割六分得られると云ふ。

### 3 砂 糖——甘蔗

西歐の植物で一番最初に伯國へ移植されたのが此の甘蔗である。

全國の甘蔗耕作地積は二十六萬八千二百二十九ヘクタールスだが、全國の低地方には到る處生産する、そして長さ八米突半餘にも上るものがある、最も盛な栽培地方はベルナンブコ州で、伯國に於ける甘蔗栽培及び砂糖製造事業の開祖である。既に一五三四年オリンダ市に近く最初の製糖工場が設けられノツサ・セニョウラ・ダ・アジュダ工場と名づけられた、今日では同州の製糖工場は大規模のもの五十五、小規模のもの實に二千四百餘を數へる。

一八四〇年前以前に於て、サンパウロ州が伯國製糖に覇を唱へてゐただけに、其後珈琲の爲に蹴落され衰へたとは云へ、現時又二千餘の大小工場を有し、大工場十六中サンタ・バルバラ、ビラ・ラツファルド、ポルトフェリース、ロレナ、コスモボリス、サンシモン等の諸工場は有名である。

甘蔗は又砂糖製造の一方、火酒及び酒精製造の爲に栽培される。

### 4 煙 草

生産率は一ヘクタールに付平均、バラ州に於ては二萬五千キロ、ベルナンブコ及びリオ・デ・ジャチイロ州に於ては四萬五千キロ、リオ・グランデ・ド・ノルテ、バライバ、セルジベ、ミナス・ジエラエス、マツト・グロツソ地方では六萬キロと云はれてゐる。

サンパウロ州に於て、耕作地一ヘクタールから生産する甘蔗の平均量は、ロレナ、ビラシカバ、ポルト・フェリス、ヂャボチカバル各地方では四十噸、カビパライに於ては四十五噸、フランカ地方では五十噸、カンピーナスでは五十九噸に達する。

又同州で多く耕作する甘蔗の主な種類は、淡紅色、紫色、縞、バナ、及び竹甘蔗である。

全國に於ける煙草の耕作面積は、約十二萬六千二百四十四ヘクタールスで、其中バイア州に於て五萬五千リオ・グランデ・ド・スル州が三萬一千五百、ミナス・ジエラエス州が二萬六千ヘクタールスを耕作してゐる。サンパウロ州に於ても一七七七年に初めて栽培されてより、約一世紀半を経た今日、一九二〇年の産額は三百二十三萬二千六百三十三キロを計上した。

同州に於ては一アルケールの平均生産量は約一千キロとされてゐる、そして主に耕作される種類は、ベルン、ジヨルヂ・グランデ、ハナナ、ヅイルジニア等である。

### 5 玉 蜀 黍

歐洲では一粒の種から、僅に三十粒を得られるに過ぎない、とされる玉蜀黍が、伯國では三百粒を得られ

時には四百粒にも上る。

而も一九一六年に初めて伯國は玉蜀黍を約九噸外國へ輸出した、そして年々莫大な輸入をしてゐた、それ以後も年々輸出額を増加して行つたが、輸入も中々に多額であつた、一九二〇年に於ては玉蜀黍の伯國へ輸入量は、その輸出品の六割に當つて居たが、一九二一年に於ては、次に示す如く輸入量は僅に輸出品の千分の一に過ぎなかつた。

一九二〇年		一九二一年	
輸 入	價 額	輸 入	價 額
	噸		噸
二、八七六	四六四	二五	二五
四、四二六	九八六	二五、九六六	七、一八二

又一九二一年に於ける、玉蜀黍の産額は珈琲に次いで第二位であつた、尙ほ世界産額から見るとは、米國が第一で伯國は第二位である。

伯國全國到處に耕作され、栽培面積總數二百二十八萬ヘクタール、内八十一萬八千四十ヘクタールはリオ・グランデ・ド・スル州に、四十一萬二千はミナス州に、四十九萬一千はサンパウロ州、二十萬八千は巴拉ナ州耕作面積である。そして一ヘクタールに付平均生産率は、アマゾナス、アラゴアス兩州にあつては千五百キロ、ゴヤス州では三千キロ、リオ・グランデ・ド・スル州では二千キロ、サンパウロ州では二千六百キロ、ミナス方面では千八百キロとされてゐる。

### 6 米

米の全國耕作面積は二十萬九千五百二十六ヘクタールで、最も盛なのはリオ・グランデ・ド・スル州の六

萬ヘクタール、次いでミナスの五萬八千、サンパウロの四萬五千である、其他バラ、ピアウイ、セルジペ、バイア、リオ、巴拉ナ、サンタカタリナ、ゴヤスの諸州に耕作される。サンパウロ産の米は品質他州産に優り、殊にイグアペ米は常に上値を保ち標準米格である。

サンパウロ州に於ける、一ヘクタールの平均産額は五千五百五十リットルで、百リットルの生産費は平均二ミル五百乃至六百レール、賣上相場は十ミルから廿五ミルレールを上下する、栽培米種は日本米、カナチア、ブレト、カロリナ、アグリヤ、カタツテ、ドウラアド等で、播種は八月乃至十二月、收穫は三月乃至六月の候に行はれる。精米率は五割の一等白米、一割六分の碎け米、六分六厘の粉米を得、糠は粉粹して家畜用として賣却される。

### 7 豆

玉蜀黍と同じく全國何れの地にも栽培され、伯國人の主要食物の一のみならず、戦時中から戦後にかけて多量に輸出された。然し一九二一年から輸出品を激減した。

耕作地積は六十五萬五千九百ヘクタールで、内リオ・グランデ・ド・スルの十八萬六千八百、サン・パウロの十七萬六千、ミナスの十二萬ヘクタールが主な耕作地方である。

生産率一ヘクタールに付平均、リオ・グランデ・ド・スル地方では千六百キロ、ミナス地方では千キロ、エスピリト・サント方面では千七百五十キロ、マツト・グロツソ州では二千キロである。サン・パウロ州では一アルケル(我が約二町五反歩)で二千五百乃至四千リットルが普通とされる。植付は九月と一月又は二月で收穫は三、四月及び十二、一月である。

S マンヂオカ

耕作面積十三萬四千七百十九ヘクタールの中、バライバ州は二萬四千、セアラ州は一萬六千五百二十三ヘクタールの耕作地を有し、他の諸州の耕作地積はそれ以下である。

粉としたものは内地では小麦粉に代用され、戦争後歐洲へも多額に輸出され、パンの製造に小麦と混用され好評を博した。又上等な澱粉や片栗粉が製造される。

粉製造を主とするものと、根をそのまゝ他の芋の如く調味して食用に供するものと二種ある。普通雨期後に植付をなし、種類により十三ヶ月乃至十四ヶ月、又は十六乃至二十ヶ月を経て成熟する、そして生産高平均は一アルケルに付五十噸乃至二百噸で、氣候の暑い地方は産額が多い。

9 カ、オ

チヨコレート製造原料のカ、オの全國栽培面積十七萬六千九百ヘクタールの中、十六萬七千ヘクタールはバイア州に属す。同州に於てカ、オの成育する地方は、バレンシア地方よりエスピリト・サント州の境に達す、そして其の生産の開始されたのは千七百四十六年で、千八百三十四年に初めて第一回の輸出量四百四十七袋(一袋六十キロ入)を出し、其後八十六年を経て一九二〇年六萬二千五百八十四噸、價額六四、六五〇コントス英貨額三、八二一、〇〇〇磅と云ふ近年の記録を作つた。而して同品全伯國輸出量の九割五分に當り、伯國は世界カ、オの産地として第二位を占むるに至つた。

カ、オ樹は充分成長して、五年乃至七年で結實する、そして數十年間は全盛期とされる。同樹一年の平



(上) 間作物とし副作物として、最も經濟的な玉蜀黍の出來榮



(中) 棉の大産地として

世界の注目を引ける伯國棉花

(下) 伯國到る處に栽培さるる

食料及澱粉用のマンザオカ

伯國に於て小麥作に最も適する地方は、南部三州即ちリオ・グランデ・ド・スル、サンタ・カタリナ、パラナの三州である。

播種は一般に散蒔で、分量は一ヘクタールに對し八十乃至百廿リットルの割合、時期は五月六月である。收穫は播種後六ヶ月とし、十一月後半及び十二月を通じて行はれる。收穫率は一對廿即ち種子の廿倍を普通とする、此の標準率からリオ・グランデ・ド・スル、サンタ・カタリナ、パラナの三州は、一ヘクタールに付廿ヘクトリットルの收穫があるわけで、小麥栽培の最良の成績である。亞爾然丁では一ヘクタールに付、通常八百キロで、千キロに達する事は餘程豊饒の年である。尙廿ヘクトリットルは千五百キロに相當する。

均産額は、各樹間の距離の如何で甚だ差がある、前農務省技師ドクトル・レオゼンテル氏の意見によれば、各樹間隔を十呎とし、一噓に四百本を植えると、收穫高は六百英斤、即ち一本には一英斤半の割合である、然るに間隔を十三呎とし、一噓に二百五十本を植えると、收穫高は九百廿五英斤、即ち一本に付三英斤七分の割合となると云ふ。

一九〇一年より一九一九年迄、九年毎の世界及び伯國生産量と消費量を示せば

年次	世界生産量	伯國生産量	消費量
一九〇一	一〇五、八二〇	一五、八六二	一〇九、〇八一
一九一〇	二二〇、九〇五	二九、一五八	二〇一、一六六
一九一九	四五七、七〇〇	六二、五八四	四二三、三〇〇

### 10 小 麥



景の採摘非珈の樹年五十 (下) 場牧範模州ロウパンサ (上)

生産費は一キロ當二百十六レウス見當で、亞爾然丁では現在二百五十六レウスを要してゐる、かくの如く伯國に於ける小麦の生産状態は至つて良好である。

### (ハ) 牧畜及び畜産物加工

統計局最近の調査に依れば、伯國の畜牛數は戰前戰時中戰後と對比して次の數字を示してゐる。

畜牛數	一九一二年	一九一六年	一九二〇年
	三〇、七〇五、四〇〇頭	二八、九六二、一八〇頭	三四、二七一、三三四頭

かくて伯國は、現今世界畜牛數上に於て、印度及び米國に次いで第三位を占むるに至つた、一九一六年時代に於ては、印度、米國、露國及び亞爾然丁に次いで第五位にあつたのである。而して現今米國は六千四百萬を有し、印度は一億三千萬を擁してゐる、然し印度牛は世界市場に競争し得る良種ではない、此の點から云つて、歐洲消費市場へその肉を供給し得る條件に叶つた、良種牛數の上から伯國は、印度を凌いで米國に次ぎ、實質上から世界第二の地位にあると云ひ得られる。伯國に次いで亞爾然丁の三千萬、獨逸及露西亞は、嘗ては三千四百萬を有したが、今では二千五百萬を出でざるべく、澳、英、南阿等遙に伯國以下である。伯國內で百萬頭以上の牛を所有する州は、リオ・グランデ・ド・スル、ミナス・ジエラエス、バイア、マツト・グロツツ、ゴヤス、サンパウロ、ピアウイの各州で、其の内リオ・グランデ・ド・スル州は第一位で八百五十萬弱を有し、第二位はミナス・ジエラエス州で七百三十萬餘、第三位はバイア州の三百萬と云ふ順である、尙ほ米國農務省の統計局調査に依れば、伯國の所有牛數は三千七百五十萬頭としてゐる。廣大な伯國には牧畜に適した土地が多いので、牛の他に養豚、羊、馬等が盛である、其等の最近統計局調査にかゝる數字を示せば、

牛

豚

羊

山羊

馬

驢馬類

三四、二七二、三三四頭 一七、三三九、二一〇頭 七、二〇四、九二〇頭 六、九一九、五五〇頭 六、六六五、二三〇頭 三、三二二、一九一〇頭  
 養羊數の主なる州別にすれば、リオ・グランデ・ド・スル州の二百六十二萬二千九百二十頭を第一とし、バイア州百八十一萬一千九百、ミナス・ジエラエス州四十六萬四千六百六十、ピアウイ州三十五萬六千六百六十、パライバ州十八萬九千五百六十、アラゴアス州の十八萬三千五百二十頭等である。

次に畜産品加工業の主なものとしては凍肉、乾肉、牛乳加工、皮革加工、罐詰肉等で、其の中凍肉事業の勃興は極めて最近の事で、歐洲大戰の二年目から始まつた、一九一七年後急激に發展し、一九二〇年に於ては米國より二萬噸多く輸出した、一九一五年より各三年毎の輸出數量は次の如し

凍肉輸出量	一九一五年	一九一八年	一九二一年
	八、五一四噸	六〇、五〇八噸	六一、九三四噸

而して凍肉事業の最も盛な地方は、リオ・デ・ジャネイロ、リオ・グランデ・ド・スル、サンパウロの諸州である。一九二一年の輸出量は一九二〇年のそれに比して大いに劣り、一九二二年に入つて更に振はないのは一九二一年にサンパウロ州に牛疫が発生した事、肉の質が劣るため價值を落した事、生産過剰世界一般的畜産界不況の影響を受けた等の爲めである。

又乾肉製造事業の第一位を占むるはリオ・グランデ・ド・スル州で、第二位はミナス・ジエラエス州、亞いでマツト・グロツツ州、サン・パウロ州、リオ・デ・ジャネイロ州等である。

牛乳加工業の最も盛なものはミナス・ジエラエス州で、牛酪製造工場七百三十三、乾酪製造工場四百二十五を有し、年々平均五百萬キロの牛酪、七百萬キロの乾酪、千八百萬リットルの牛乳を州外へ輸出する。リオ・グランデ・ド・スル州でも乾酪製造が盛である、リオ・デ・ジャネイロ州では牛酪三十七萬キロ、乾酪



十四萬キロ、乳脂六萬キロを生産する。又北部のピアウイ、リオ・グランデ・ド・ノルテ、バイア諸州に於ても八千二百萬乃至八千三百萬リットルの牛乳、三十萬キロの牛酪、四百萬キロの乾酪を生産する。

(ニ) サン・パウロ州農業状態

サン・パウロ州の總面積二十五萬二千八百八十平方基米突中、開拓地は僅かに其の四分の一に當り、他の四分の三は森林深く千古斧鉞を知らない状態にあるのだ。一九〇四―五年及び一九一八―九年の調査を對比して、深林地、耕作地等の割合が、如何に變化したかを示せば、

深林地 放牧地 耕作地 不毛地	反別		割合	
	一九〇四―五年	一九一八―九年	一九〇四―五年	一九一八―九年
深林地	一九〇四―五年 二、八五五、七一八	一九一八―九年 二、一九〇、四四〇	五六、九%	三七、二%
放牧地	一、四四七、七五二	二、三〇八、七四一	二八、八%	四〇、一%
耕作地	六三六、三三八	一、二二九、九一四	一、二五%	一九、六%
不毛地	一〇七、八〇二	一一〇、六〇〇	二、〇%	二、〇%

又一九〇四―五年當時の土地所有者は次の通りで、之に對し最近調査がないので、兩者を對照して示す事の出來ないのは遺憾である。

所有地積	所有者數	所有地積	所有者數
一〇アルケレーレス以下	二一、五三五人	二五アルケレーレス以下	一一、七三五人
五〇同	九、二六九	一〇〇同	六、一八〇
二〇〇同	四、七七七	一、〇〇〇同	八六六
一、〇〇〇アルケレーレス以上	五八九		

之を所有主の國籍別にすれば、

國籍	所有主數	面積	國籍	所有主數	面積
伯國人	四八、五〇八	四、五三九、三四二	伊太利人	五、一九七	一九二、〇二一
葡萄牙人	一、六〇七	一三〇、七八七	埃地利人	一一七	五、一三五
獨逸人	六七五	六〇、七七六	英吉利人	二五	一七、九九四
西班牙人	四七〇	九、四一三	佛蘭西人	七六	一二、七三九
其他	二二五	四五、六〇八			

で總體の私有地數五萬六千九百三十一、其の所有面積は五百四萬七千六百十アルケレーレスであつた、一九一八―九年の調査では私有地は八萬六千八百四十一、其の面積五百七十四萬九千六百九十五アルケレーレスである。又一九〇四―五年と一九一八―九年に於ける農園労働者は、

勞働者總數	内國人	外國人
一九〇四―五年	四一五、四七六人	二一八、九八一
一九一八―九年	六八一、七〇四人	三〇四、六二〇人

耕作物種類	耕作反別		耕作反別	
	一九〇四―五年	一九一八―九年	一九〇四―五年	一九一八―九年
珈琲	一九〇四―五年 三六一、五七二	一九一八―九年 四八一、〇三三	甘蔗	一九〇四―五年 二〇、一三二
綿	三、四六二	六一、一五一	米	二七、四四一
玉蜀黍	一四三、三八四	三三六、八五二	葡萄	一一、三三二
煙草	一九九四	一三、二五九	馬鈴薯	一、七三八
其他	九八二〇	四九、一三四		

終に一九一八―九年及び一九一九―二〇年の兩農年度に於ける主要農産額を示せば、

品名	單位	數		價		額	
		一九一八年	一九一九年	一九一八年	一九一九年	一九一八年	一九一九年
珈琲	袋	七,二五三,二五〇	四,一五四,七〇〇	五四三,九九三,七五〇	三七八,九〇八,六四〇	三,一七〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇
砂糖	袋	四八九,四二五	五二八,八二一	二四,六七一,六三〇	三三,九七一,一六一	一,一〇〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇
米	袋	三,三六五,一〇〇	四,六八六,〇一五	四八,七八三,九五〇	八二,〇〇五,二六二	一,六〇〇,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇
豆	袋	三,五二二,七八〇	二,八五九,三七七	四四,〇三九,七五〇	四〇,〇三一,二七八	一,六〇〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇
玉蜀黍	袋	一,二七七,五〇〇	一,五九六,三九〇	一二三,九九九,五〇〇	一八三,五八四,八五〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
綿	アロバ	一,〇二五,九八〇	四,五八八,二九九	一一一,二八五,七八〇	四三,五八八,八四〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
煙草	アロバ	一,〇二五,九八〇	四,五八八,二九九	一一一,二八五,七八〇	四三,五八八,八四〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
火酒及酒精	リットル	一三〇,三一六	二一五,五〇九	五,二一二,六四〇	六,八八〇,七一九	六,八八〇,七一九	六,八八〇,七一九
計		八四,三三六,二五九	九五,三八八,〇四二	四三,四九五,六〇六	四九,四〇六,八七七	四,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇

▲備考 一袋は六十キロ入、一アロバは十五キロである。

右表中一九一九—二〇年度の生産額の前年に對して劣つてゐるのは、一九一八年の霜害の爲に珈琲收穫に大影響があつたのと、害蟲の發生夥しく綿作に大被害があつた爲とである。此の外サン・パウロ州は、葡萄酒百三萬六千リットル、乾葡萄五百七十九萬四千キロ、馬齡著二千九百七十六萬一千キロ等を生産する。

(ホ) 入國移殖民

吾人は既に伯國地歴の概要を述べ更に廣袤三百二十餘萬方哩に埋藏せらるゝ無限の富源を語り、進んで伯國商工農の内容に聊か説き及んだ。而して現代の伯刺西爾程投資國として將た又移住地として好適の國は他に比すべくもないと云ふ明確な結論を得た。例へば伯國は眠れる獅子の如きである。他日資本と努力に目醒むる曉必ずや彼は世界の産業上一偉觀たるに相違ない。げに勞資の輸入は伯刺西爾建國以來の一貫せる國是

であつて、其憲法第七十二條の冒頭に、伯國人及國內在住の外國人に對して自由と個人の安全及所有權の不可侵を保障して、内外人均等の主義を宣明し、更に民法第三條を以て「法律は私權の獲得及行使に關し内國人及外國人を區別することなし」と繰返しあるも所詮伯刺西爾人が外來者と協力して此眠れる獅子の覺醒を期さんが爲めに外ならぬ。

かくて伯刺西爾が此方面に拂へる努力の効果空しからず、勞力輸入に於ては千八百二十年より千九百十九年末に至る過去百年間に總計三百五十七萬七千三百六十五人と云ふ多大な入國移殖民を見た。今左に入國者國籍別を示せば、

業	農		業	
	人員	人員	人員	人員
國籍	伊太利	一,三七八,八三六	葡葡牙	一,〇二一,二七一
	獨逸	一二七,三二一	露西亞	一〇五,二二五
	土耳其	五四,一二〇	佛蘭西	二九,六六五
	英國	一八,七〇八	瑞西	一一,三七五
	白耳義	五,二八九	亞國	四,三八五
	北米	二,六二六	ギリシヤ	二,〇二六
	ワルガイ	一,五二三	其他	一九五,四三三
合計				三,五七七,三六五人

而して右表中一九〇八年より一九一九年に至る十二年間に入國せる數は百一萬五千八百七十三人にして其の各年別入國移殖民數を示せば、

年別	人員	年別	人員	年別	人員
一九〇八	九四,六九五	一九〇九	八五,四一〇	一九一〇	八八,五六四
一九一一	一三五,九六七	一九一二	一八〇,一八二	一九一三	一九二,六八三
一九一四	八二,五七二	一九一五	三二,二〇六	一九一六	三四,〇〇四

一九一七 三二、一九二  
 一九一八 二〇、五〇一  
 一九一九 三七、八九八  
 一九一四年以降頗に其數を減じ來れるは歐洲動亂の影響を知るべく、尙ほ該入國者數を國籍別にすれば、

國籍別	人員	國籍別	人員
葡萄牙	三八六、六八六	伊太利	一六五、七〇九
土耳其	四二、三八九	露西亞	五〇、六三二
英國	二二、四一〇	日本	二八、二九三
其他卅餘ヶ國	二五三、八三九	佛國	一〇、三九六
		西班牙	二一、二七三
		獨逸	三四、二四六

入伯移植民の州別分布數は明確なる統計なき爲め詳細を知るに由なきも主としてサンパウロ州を中心とせる南部伯刺西爾にうち擴がり、其の大多數を占むる伊、葡、西、獨の國籍別よりすれば伊、西はサンパウロ州に最も多く（サンパウロ州在住伊太利人約八十萬、西班牙人約三十萬、葡萄牙人約二十五萬）獨は南部三州中特にサンタ・カタリナ州に多い。而して葡は重に海岸地方の都市に散在して居る。

伯國中最も多量に移植民を收容したるはサンパウロ州にして前表入伯移植民總計三、五七七、三六五人の中一、八二一、六〇六人は實に同州の制する所であつた。該州が今日伯國二十州中群を抜き生産上一偉彩を放つはこれが結果に外ならぬ。戰前及戰後に於ける各五年間の同州入國移植民數を對比すれば、

戰前五年間	合計	開戰後五年間	合計
一九一〇—一九一四年	三六二、八九八人	一九一五—一九一九年	一一六、六一一人
一昨年即ち一九二〇年には	四四、五五三人		

(一) 日本人現在數及其分布

伯國に於ける邦人唯一の移植民取扱業者たる海外興業株式會社の調査に係る在伯日本移植民の現在數（本

年六月末日現在）は三萬五千三百五十二人となつて居るが入國者にして曾て他國に轉じたる者もあり又秘露、亞國、北米其他より流入したるもありて實際其數を正確に表はすは頗る難事である。恐らく事實は多少前記の數以上ならんと想像されるが今同社の調査に従ひ入國本邦移植民、現在數及其分布狀態を順次左に掲示せん。千九百八年（明治四十一年）七月十九日より千九百二十二年（大正十一年）六月三十日に至る邦人移植民會社扱の入國者は家族數七、四一四、之れが人員總計二九、八三〇、内男一七、三六二、女一二、四六八にして渡航船別に表示すれば、

入伯日本移植民（舊移民會社及海外興業會社扱）

日本出發年月日	船名	取扱會社名	家族數	總人員	男	女
明治十二年四月廿七日	笠戸丸	皇國 植民會社	一六九	七九二	六一一	一八一
明治十三年五月四日	旅順丸	竹村 植民商館	二五一	九四五	五四五	四〇〇
明治十五年三月三日	嚴島丸	同	三六七	一、四三三	七九三	六四〇
	若狭丸	東洋 移民會社	三五五	一、四一九	八一〇	六〇九
大正二年三月五日	第二雲海丸	竹村 植民商館	三八四	一、五〇六	七九五	七一六
	若狭丸	東洋 移民會社	三九四	一、五八八	八七二	七一六
	三島丸	同	五二七	一、九三七	一、〇二七	九一〇
	帝國丸	竹村 植民商館	四七二	一、八〇八	九八〇	八二八
	若狭丸	東洋 移民會社	四二二	一、六八八	一、〇〇〇	六八八
大正三年三月十日	同	同	四〇八	一、八〇九	一、〇五七	七五二
	廿五日	竹村 植民商館	四	一、三五一	七	六
大正五年十月十一日	伏見丸	東洋、森岡、南米	四	一、三五一	八〇九	五四二
大正六年四月二十日	若狭丸	ブラジル移民組合	一五一	五六二	三四二	二二〇
六月十二日	河内丸	同	一五一	五六二	三四二	二二〇

年度	出生人数	死亡人数	增加人数
大正五年	七九二(男) 四一七(女)	二六八(男) 一一四(女)	五二四(男) 二六三(女)
大正六年	八二六(男) 四一〇(女)	二九六(男) 一〇九(女)	五三〇(男) 三〇一(女)
大正七年	一〇一三(男) 四八四(女)	四四二(男) 二二七(女)	五七一(男) 二七四(女)
大正八年	一三九九(男) 七〇一(女)	五三三(男) 二五三(女)	八六六(男) 四四一(女)
大正九年	一六一一(男) 七八七(女)	四〇二(男) 一七三(女)	一二〇九(男) 五九四(女)

而して本年六月三十日現在数は、家族数八、一八五、總人員三五、三五二、内男一九、八四七、女一五、五〇五で、入國家族数に比し七百七十一、人口五千五百二十二人を増加して居る。こは過去十五年間の婚姻出生と會社取扱以外の入國者を含めたる結果にして伯國が如何に人口増殖に好適の地たるかを知らる爲め左に大正五年以降十年末に至る在サンパウロ市總領事館調査の出生死亡を示せば左の如し。

大正十一年三月廿二日 輸送回數計四十回	神奈川丸	同	計	七四一	四三六	二四八	一八八
備考				七四一	四三六	二四八	一八八
渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	人員
サンパウロ州 補助家族咖啡園移民	六、八六六	二六、二五八	ミナス州 補助家族咖啡園移民	四〇	一四一	ミナス州 補助家族咖啡園移民	一四一
呼寄移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八
無補助夫婦移民	五三	一四〇	植民	一四〇	一四〇	植民	一四〇
ミナス州金銀移民	一〇七	一〇七					

註 表中植民と稱するは海外興業會社經營のイグアハ植民地に入れるものなり

大正十一年三月廿二日 輸送回數計四十回	神奈川丸	同	計	七四一	四三六	二四八	一八八
備考				七四一	四三六	二四八	一八八
渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	人員
サンパウロ州 補助家族咖啡園移民	六、八六六	二六、二五八	ミナス州 補助家族咖啡園移民	四〇	一四一	ミナス州 補助家族咖啡園移民	一四一
呼寄移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八
無補助夫婦移民	五三	一四〇	植民	一四〇	一四〇	植民	一四〇
ミナス州金銀移民	一〇七	一〇七					

大正十一年三月廿二日 輸送回數計四十回	神奈川丸	同	計	七四一	四三六	二四八	一八八
備考				七四一	四三六	二四八	一八八
渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	人員
サンパウロ州 補助家族咖啡園移民	六、八六六	二六、二五八	ミナス州 補助家族咖啡園移民	四〇	一四一	ミナス州 補助家族咖啡園移民	一四一
呼寄移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八
無補助夫婦移民	五三	一四〇	植民	一四〇	一四〇	植民	一四〇
ミナス州金銀移民	一〇七	一〇七					

大正十一年三月廿二日 輸送回數計四十回	神奈川丸	同	計	七四一	四三六	二四八	一八八
備考				七四一	四三六	二四八	一八八
渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	人員
サンパウロ州 補助家族咖啡園移民	六、八六六	二六、二五八	ミナス州 補助家族咖啡園移民	四〇	一四一	ミナス州 補助家族咖啡園移民	一四一
呼寄移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八
無補助夫婦移民	五三	一四〇	植民	一四〇	一四〇	植民	一四〇
ミナス州金銀移民	一〇七	一〇七					

大正十一年三月廿二日 輸送回數計四十回	神奈川丸	同	計	七四一	四三六	二四八	一八八
備考				七四一	四三六	二四八	一八八
渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	家族数	人員	渡航者種別	人員
サンパウロ州 補助家族咖啡園移民	六、八六六	二六、二五八	ミナス州 補助家族咖啡園移民	四〇	一四一	ミナス州 補助家族咖啡園移民	一四一
呼寄移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八	一、三三八	熟練職工移民	一、三三八
無補助夫婦移民	五三	一四〇	植民	一四〇	一四〇	植民	一四〇
ミナス州金銀移民	一〇七	一〇七					

大正十年 一、三四〇〔男〕 七二二  
 合計 六、九八一 六二八  
 三三二〔男〕 一五六  
 二、二六三 一六六  
 一、〇二八〔男〕 五六六  
 四、七二八〔女〕 二、三九〇  
 二、三二八

而して前記在伯邦人分布状態は

州別	家族数	人員	男	女
サンパウロ州	七、四二〇	三三、〇四三	一七、七八〇	一四、二六五
ミナス州(大河沿岸)	二八〇	一、二二〇	六六五	四五五
パラナ州(ソロカバナ線)	二九八	九五六	五四二	四一三
マツトグロツ州	一七八	一、二三三	八六〇	三七二
註 尙ほリオ州、ベルナンアコ、パラリ、アマゾナス其他の諸州に三百名内外あれど詳かならず				
分 別	家族数	人員	男	女
サンパウロ市	一五〇	一、一〇〇	六五〇	四五〇
サンパウロ市附近(馬蹄著作)	三〇〇	一、一四〇	六八四	四五六
サントス市	一九五	九〇九	六一五	二九四
州内地方	六、七七三	二八、八九四	一五、八二九	一三、〇六五
尙ほサン・パウロ州内在住邦人中農業に従事せる数は、				
農民種別	家族数	人員	男	女
植民(イグアベ植民を除く)	一、七二五	七、三二〇	三、九八〇	三、三四〇
海外興業會社イグアベ植民	五二〇	二、三二九	一、三〇七	一、〇二二
新珈琲栽培講習者	六五〇	二、七二〇	一、四三二	一、二八八
米、綿、雜穀、馬蹄薯栽培者	一、八二八	七、五六五	四、一四九	三、四一六
珈琲園就働移民	二、三五〇	一〇、一〇〇	五、六四五	四、四五五
註 イグアベ植民地に於ける邦人土地所有面積は約一萬五千町歩、其他聖州各地散在邦人土地所有面積は約五萬一千七百五十町歩				

にして其中最も多きはノロエステ線の約四萬町歩である。而も珈琲栽培樹數約三百萬本に達して居る。  
 都市に於ける商工業經營及労働者は三百四十七家族獨身者を合して總人員二千九人であつて其の内譯は

職業別	經營數	人員	男	女
商業獨立經營	二八	一三五	七五	六〇
工業獨立經營	五二	二六四	一五八	一〇六
家庭労働者	六〇五	三〇〇	三〇五	

職業別 人員 男 女  
 商家就職 二三五 一四〇 九五  
 工業労働者 七七〇 四九五 二七五

(ハ) 珈琲園労働

渡伯日本移植民七、四一四家族の内四五五家族のイグアベ植民を除き他は殆ど全部契約移民として珈琲園へ入つたのであるが漸次資金と經驗を得、半獨立又は獨立農となり現在珈琲園に止れるは二、三五〇家族にしてサン・パウロ州内の約九十數耕地に分布されてゐる。珈琲園労働生活は日本で夢想して居た程決して容易なものではない。殊に最初の一、二年は諸事に不慣れの爲め頗る困難を感じる。従つて失望し落膽し不平も出るのであるが數年の後は必ず伯國謳歌者となる。其の收支は家族の労働能率、農作物の豊凶或は經驗の多少等に依り決して一定せぬが其の一般を知る爲め大正八年度渡伯者(在耕地二年乃至三年)數十家族に問ひ合せたる大正十年度收支の平均を左に略記せん。

收 入	支 出
一、珈琲手入賃 四五六	食料 二五〇
二、珈琲採取賃 二五〇	衣服 一一〇
三、間作物取上高 二〇〇	農具費 四〇
(イ)豆 十袋 二〇〇	諸費 六〇
(ロ)米 二十袋 二八〇	計 四六〇
(ハ)玉蜀黍 五十袋 四二五	差引純益 一九九六

收支差引純益に於て中には七千六百二十四「ミルレース」を收得せるもあり最も少なきは三百五十「ミルレース」に過ぎざるもありしが孰れも例外に属する。

### (ト) 半 獨 立 農

半獨立農とは借地、步合作及新植珈琲請負者等の謂ひにして主として米、棉、馬鈴薯、甘蔗其他の雜穀を栽培し、合計二、四七八家族で孰れも珈琲園を卒業せるものである、借地總面積は一萬三千七百十町歩にして各小作農戶の收支は一定してゐないから農作種別を以て正確に表はすことは出来ない、今左に最も多く栽培せらるゝ米に就て有名なガタバラ耕地内北村米作地の本年度小作者收支の一家族平均額を掲ぐれば、

粗米	三六〇袋(一袋一六、五〇〇)	五、八四〇、〇〇〇
家畜(豚及鶏)		一九〇、〇〇〇
合計		六、〇三〇、〇〇〇

種子代(概三袋)	四九、五〇〇
食料	一、二〇〇、〇〇〇
衣服費	五五〇、〇〇〇
下男給料	七二〇、〇〇〇
臨時雇人給料	二七五、〇〇〇
醫療費	九〇〇、〇〇〇
小作料(收穫米五分)	二九二、〇〇〇

(三) 棉花	二十アロバ	一六〇
四、日給仕事		三五〇
五、家畜養鶏		三三〇
(イ) 豚	四頭	一五
(ロ) 鶏	十羽	二、四五六

摘要  
一、家畜、鶏の現在所有數  
鶏 十羽、豚 六頭  
備考  
伯貨は普通二ミルレースが一圓なるも昨年来暴落目下は三ミルレース日本金一圓の換算なり

#### 差引純益金

二、〇八八、五〇〇

(邦貨換算約七百圓)

合計	五四〇、〇〇〇
合計	三、九四一、五〇〇

本年五月十四日の東京朝日新聞に農家經濟狀態と題して小作制度調査會の報告に係る大正九年度の日本に於ける小作の收支が掲載されてあつた。参考の爲め左に表記すれば、

#### 日本に於ける小作の收支(家族約六人)

収入名別	目的物	収入金高
田收穫米	町反	一、〇〇三、九四〇
同收穫麥		六四、三四
畑收穫高		六六、二四
園藝等の收入		〇、三
日雇働賃約五十六人		一二五、四八
計		一、三二六、二四

支出名別	目的物	支出金高
食糧費(家族約六人分)		三四五、〇九
被服費(同上)		五一、五四
住宅費		四四、三三
農業經營費		二〇七、八七
公費及寄附(戸數割及水利費等)		三〇、五〇
兒童教育費		—
社交費		—
酒類費		四二、八一
雇人費		—
雜費		一三三、九〇
小作料(田が約五石二升、畑が約七圓七錢)		五〇四、三〇
計		一、三六〇、三四

#### 收支差引不足四十四圓十錢

事實は直ちに結論を産む。前表の對比以上に最早地獄極樂を説明する必要を認めない。

(チ) 獨立農

各戸二十五町歩以上の土地所有者は總計二千二百四十五家族で所有土地面積は六萬六千七百六町歩である(海外興業株式會社の所有約一萬町歩を除く)彼等は既に四百萬本以上の新珈琲樹を植え付け、或は米、棉、甘蔗其他の雜穀を栽培中には相當な農産加工場を併せて經營して居る者もある。

海外興業株式會社經營のイグアベ植民地に於ける定住三ヶ年以上の植民本年度收支各戸平均額を示せば左の通りである。

收		支	
入(家族大人三人、小供一人六分)		出	
穀及其他一年生作物	一、四五二、七〇〇	種子代金	一四七、六〇〇
砂糖其他加工品	二、〇二七、二〇〇	食料	九六〇、〇〇〇
家畜其他	二七六、五〇〇	被服	三三三、三〇〇
計	三、七五六、三〇〇	酒、煙草其他嗜好品	七六、七〇〇
		公費、社交	五七、六〇〇
		雜費	五〇、〇〇〇
		勞銀支拂	三八八、〇〇〇
		計	二、〇〇三、二〇〇
		收支差引純益	一、七五三、一〇〇

(邦貨換算約六百圓)

珈琲園、半獨農に比し收益の少なきは年に依つて其の差ある事及び獨立農は收支の統計に表はれざる方面例へば家屋の新築、開墾其他に勞力の固定する事多き爲めである。

日本に於ける小作制度調査會の調査に係る大正九年度の故國自作農の收支を對比せんに



圖布分民植移本日住在州ロクバンサ在現

日本に於ける自作農の收支(家族七人九分)

收入名別	收入目的物	收入金額
田米收穫高	町反	一、二二、八〇
田麥收穫高	町反	一、四九
畑收穫高		一、四九
園藝其他養蠶茶野菜等		〇、六一
山林收益		一八五、七八
計		一、四九〇、八九

支出名別 支出金額

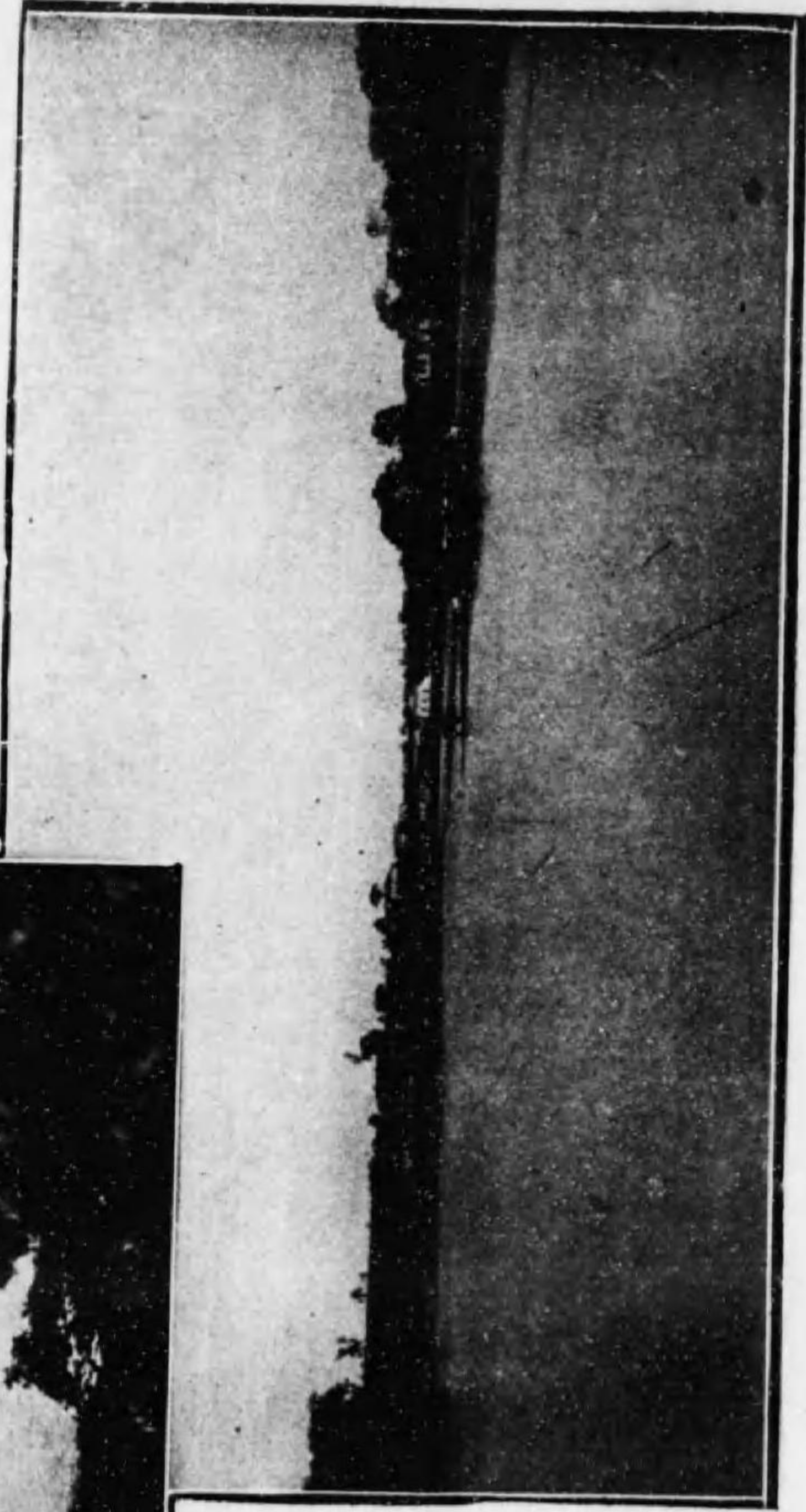
食糧費(家族七人九分)	五三九、〇五
被服費(同上)	一五七、八四
住宅費(修繕、薪炭費、石油電燈等)	一一四、二五
酒類	七四、五九
農家經營費(肥料農具等)	二三五、八七
公費及寄附(各種税金其他)	一八四、九二
兒童教育費	二九、一八
社交費	
雇人給料(日雇約六十五人)	六五、三〇
雜費	二七一、四七
計	一、六七二、四二

收支差引不足百八十一圓五十三錢

日本に於ける自作農の收支五大強國が三大強國となつても數字を欺く事は出来ない。一等國と誇る帝國の中堅たる、自作農は正に以上の如き境遇にあるのだ。これでも武士の子は「腹がへつてもひもじうない」と頑張る事が出来ようか。

吾人は最早大略ながら伯刺西爾の農業及邦人移植民状態を述べ終つた。要するに伯國は農民の移住地として世界無比である。而して今後確個たる組織のもとに益々多量の移植民を送り更に各々永遠の策を樹立し奮闘うまざるに於て大和民族の發展と日伯兩國の利益親善とはやがて世界人類への光輝ある奉仕となるのである。

(下) 海外興業株式會社經營の景遠地民植メリス



(上) 便あるメリス植民地を利川河をライマの貨物運の





## (リ) 保 健 衛 生

伯刺西爾は緯度の關係から比較して、九州長崎から沖繩、台灣、シンガポールに延長した地點に相當する。従つて疾病の種類も大体沖繩、台灣と略ぼ似たものだと云ひ得られる。

一九〇二年以前黃熱病が外國人を恐怖せしめた、皮肉な事には同病で死ぬ者が上流社會及び外國使臣又は居留民に多かつた。一八九〇年乃至一九一〇年の二十年間に、伯國人の死亡率は九、六七、外國人の死亡率は八八、一二であつたので、リオ駐在を命ぜられる外交官の如きは、死刑の宣告でも受けたやうに思つてゐた。歐洲の南米航路の汽船會社の如きは、伯國の諸港には寄港せざる旨の廣告をして、船客の誘引を爲した位である。然るに一九〇二年故ロドリゲス・アルベス氏が聯邦大統領たるに際し、オスワルド・クルス博士は衛生局長に任命せらるゝと共に、患者の隔離消毒のみでは効なきを思ひ、病毒の傳播が蚊によりてなされる、事により、排水工事の完備、衛生隊を組織して蚊撲滅を計る等、積極的に大努力をした結果は空しからず、一八五〇年に四、一六〇人、一八七三年に三、六五九人、一八七六年に三、四七六八人、一八九一年に四、四五六人、一八九二年に四、三二二人、一八九四年には四、八五二人と云ふやうに多くの黃熱病死亡者があつたのが、一九〇六年には僅かに四二人、一九〇七年には三九人、一九〇八年には四人、一九〇九年以後には皆無になつてしまつた。かうして今では伯國に於ける黃熱病は、全く一の昔話になつた、而もこの黃熱病は天然痘、虎列刺等と共に歐洲人に依つて輸入されたもので、土着のものではなかつたのである。又この他伯國にも普通の疾病として次のやうなものがある。

(1) マラリア俗に(Malaria)と云ふ 日本内地でいふ瘧に過ぎない、之も蚊から傳染され、濕地、泥地、

新に拓く土地に多い、然し豫防並に治療法の進歩した今日何等恐ろしいものではない。

(2) 十二指腸虫病 之は日本にも多いが、伯國では處に依ると七十乃至九十パーセント位まである所がある。

(3) アメーバ赤痢 之は熱のない赤痢で鹽酸エメチンを三回も皮下注射すれば、容易く治つて仕舞ふ。

(4) 腸室扶斯病 之も日本のやうに時々發生する。

(5) トラホーム 之も日本ののと別段異なるはない、日本人は比較的注意するから左程ではないが、外人には随分多いと云はれて居る。

(6) フェリダブラボ 日本書物には東洋腫瘍とあつて印度地方にあると書いてある。手足、顔等の露出した部に、梅毒に似た腫物が出る、生命には何等心配なく、吐酒石の静脈内注射一ヶ月内外で完全に治る。

(7) 蛇毒 蛇毒は場所に由つては可なり多いが、之は豫防する方法はいくらもあるし、若し噛まれてもブタンタン毒蛇研究所調劑の蛇治療血清を一定の時間内に注射すれば、容易に危険を免がれ得る。

(8) ビツシヨ と總稱されて居るものゝ中で、ベルチと云つて居るのは蠅の一種で皮下に卵を置いて行くことに依つて發生する小指頭大の腫物で、頂點にある小孔からチジリ煙草を少し入れれば、虫は直ぐに死ぬ。

(9) ビツシエーロ 之も蠅の一種の仕業で、卵が鼻腔、耳内に這入つた時は、俗に云ふ耳だれのやうになる、其の時注意すれば素人にも直ぐ判る。クレオリーナカレピン油の類を注入すると虫が逃げ出す。又此の外ビツシヨ、ド、ベエと云ふものがある、之は跳足で働いて居ると足の爪の間から這入る蚤の雌蟲で、針で叮嚀に袋を掘り出せば良い。決して嚙に聞く蟲で生命を危くするやうなものは伯刺西爾にはない。

(10) シヤガ氏病 之は伯刺西爾で發見されたから純伯刺西爾名物病とでも云へやうが、然し之も幸ひにし

て此の病に罹る者は極めて稀で、未だ日本人にして之に罹つた者は一人もない、外人にしても之に罹るは主に小供で、大人には頗る稀である。之はリオの衛生局長であつたシャガ氏が、一九〇七年に発見したからシヤガ氏病と云つて居るが、髪切虫の一種バルベローと稱するものに刺されて發生するのである。

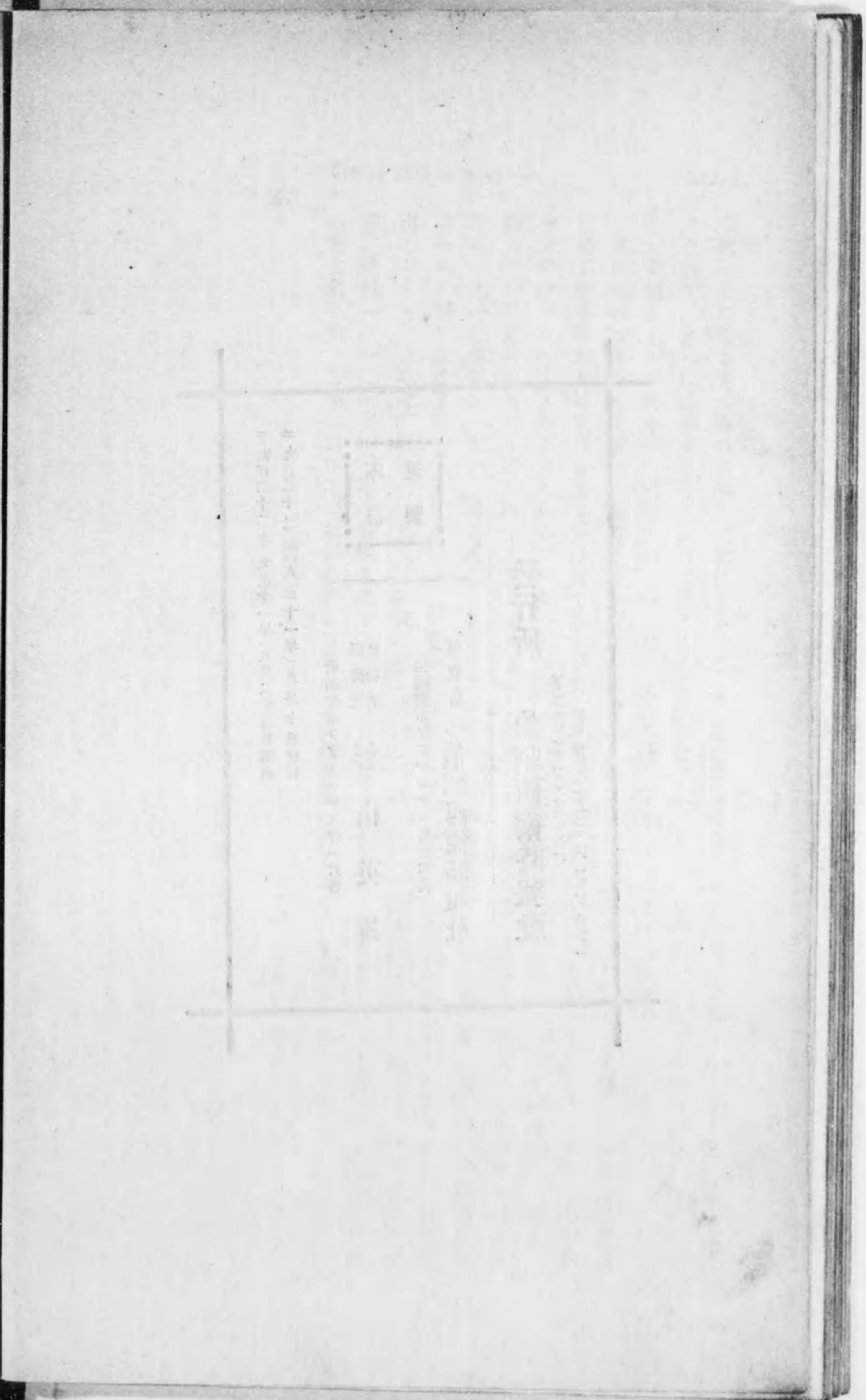
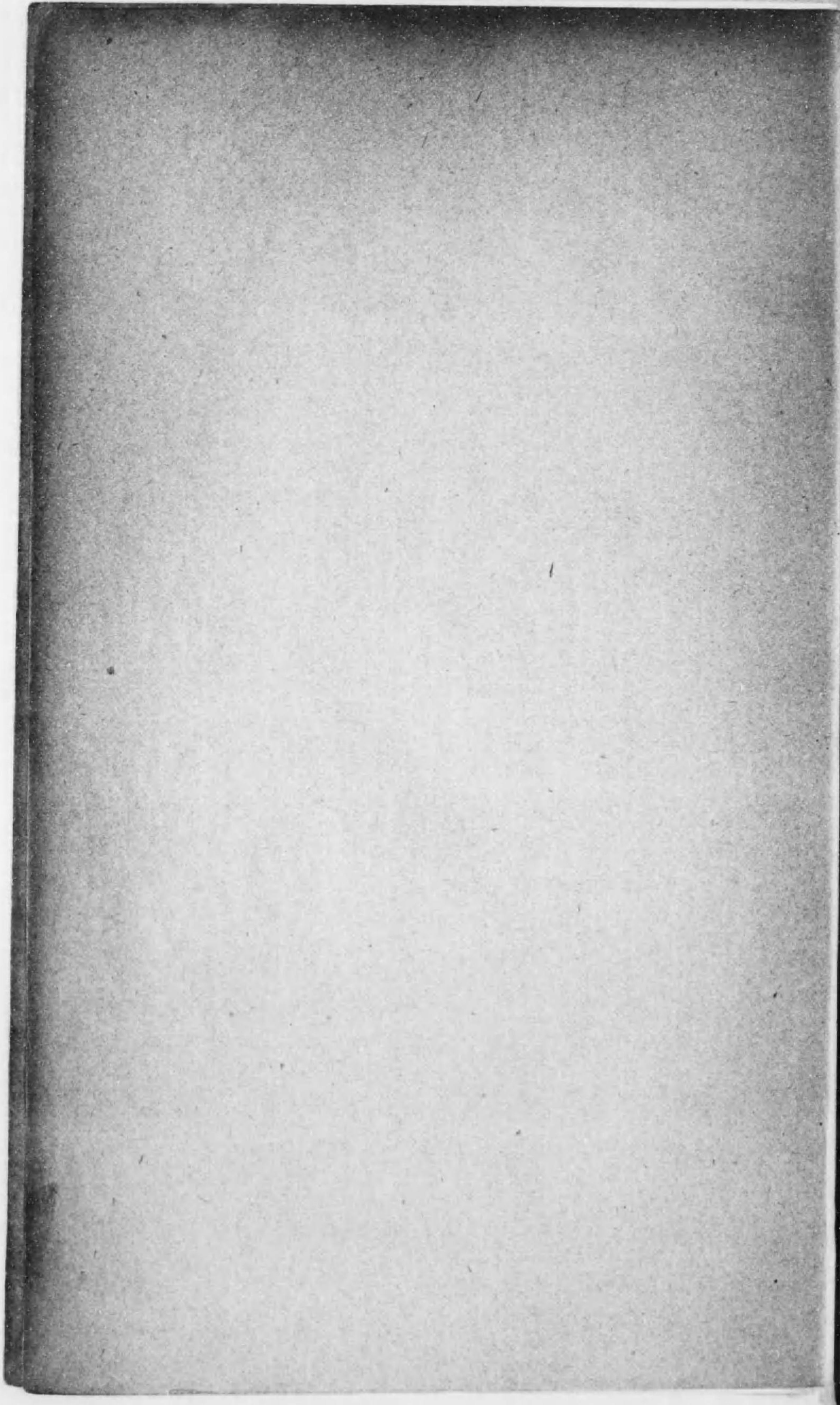
其の他の病氣では皮膚科の参考となる、ポーバ、ミセトーマなど二三あるだけで、今日の伯刺西爾は事實に於て世界中最も健康なる國と云はれて居る、即ちリオ市の死亡率は一九一五年調で二二・三四を示し、西班牙のバルセローナの下位にある、一九一三年調で伯刺西爾最高の死亡率を有したパライバでさへ、三九・四八で、墨國のメキシコ市の四〇・五〇及び智利のサンチャゴ市の三九・六四より低位にある。サンパウロ市は一九一五年調で一五・二四の死亡率を有し、一九一三年調の米國華盛頓の死亡率一七・〇〇、伊國羅馬の一六・四二及巴里の一五・九二に對して遙かに下位にある。更に伯刺西爾健康地の一と稱される、パラナ州のクリチバ市の死亡率は、一九二〇年調に於て僅かに一四・五三と云ふ世界最少の死亡率で、同年同市の死亡者數一、一三七名中、七十歳以上八十歳の者六十四名、八十歳以上九十歳の者三十名、九十歳以上百歳の者七名を數へた事に由つて、如何に伯刺西爾は長壽健康地であるかを肯き得らるゝのである。

千九百二十二年(大正十一年)八月二十八日印刷  
 千九百二十二年(大正十一年)九月七日發行

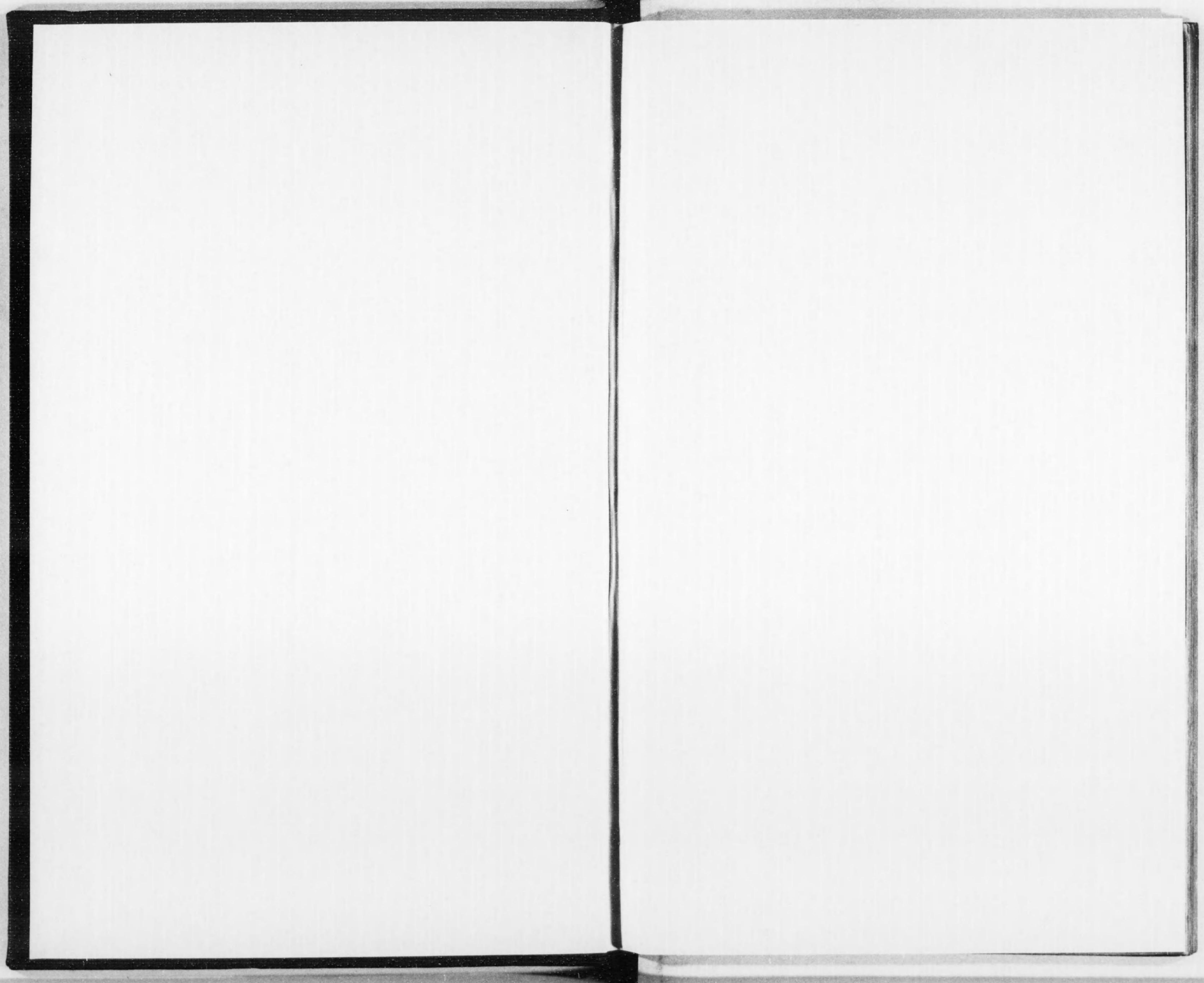
不許  
 複製

伯國聖市フアゲンデス街一六番  
 編輯兼 發行者 杉山英雄  
 印刷所 伯刺西爾時報社

發行所 伯刺西爾時報社  
 NOTCIAS DO BRAZIL  
 Rua Fagundes, 16 S. Paulo Brazil



HK-10



終